

主要な特用林産物の令和元年の生産動向

区 分		生産量 (トン)	生産額 (億円)		主要な生産地	備 考
			対前年比	対前年比		
食 の 類	乾しいたけ	2,414 (16,901)	91.6%	86	78.9%	大分、宮崎、熊本、愛媛、岩手
	生しいたけ	71,112	101.9%	675	99.9%	徳島、北海道、岩手、群馬、秋田
	うち原木栽培	5,914	99.1%	56	97.2%	静岡、鹿児島、群馬、茨城、大分
	うち菌床栽培	65,199	102.1%	619	100.1%	徳島、北海道、岩手、秋田、群馬
	な め こ	23,857	102.2%	104	98.3%	新潟、山形、長野、福島、北海道
	えのきたけ	129,104	92.1%	267	87.1%	長野、新潟、宮崎、福岡、長崎
	ひらたけ	3,862	96.5%	26	104.4%	新潟、福岡、長野、茨城、三重
	ぶなしめじ	118,597	100.5%	514	99.2%	長野、新潟、福岡、香川、静岡
	まいたけ	51,146	102.9%	482	106.4%	新潟、静岡、福岡、長野、北海道
	エリンギ	37,635	95.5%	207	96.7%	長野、新潟、広島、福岡、香川
	まつたけ	14	25.4%	8	42.1%	長野、岩手、石川、京都、和歌山
	きくらげ類	2,315	100.3%	25	100.3%	岐阜、北海道、茨城、鹿児島、鳥取
	そ の 他	1,894	85.9%	16	91.2%	
	小 計	456,437	97.7%	2,410	97.6%	
	く り	15,700	95.2%	115	121.3%	茨城、熊本、愛媛、岐阜、宮崎
	たけのこ	22,285	87.9%	54	105.6%	福岡、鹿児島、熊本、京都、香川
わ さ び	1,973	94.9%	43	74.9%	長野、静岡、岩手、島根、高知	
そ の 他	12,240	91.7%	69	93.5%	わさび以外の山菜及び葉草	
計	508,636	96.9%	2,693	98.0%		
非 食 用	うるし	1,877 (注2)	101.7%	1	103.1%	岩手、茨城、福島、山形、新潟
	竹材	1,071 (注2)	93.6%	18	96.9%	鹿児島、熊本、高知、福岡、山口
	桐材	264 (注2)	65.6%	0	65.6%	福島、群馬、秋田、山形
	木炭	14,406	98.0%	20	110.2%	岩手、高知、和歌山、熊本、鹿児島
	竹炭	447	83.7%	3	107.4%	福岡、熊本、鳥取、徳島、宮崎
	木酢液	2,012 (注2)	85.8%	4	88.9%	岩手、宮崎、静岡、熊本、福島
	竹酢液	193 (注2)	98.2%	1	97.8%	香川、熊本、徳島、宮崎、島根
	薪	73,739 (注2)	96.2%	20	96.2%	長野、北海道、鹿児島、高知、福島
	その他	2,535	101.6%	27	95.4%	木ろう、つばき油、竹皮、しきみ、さかき
	計			94	99.0%	
合計			2,787	98.0%		

注) 1 乾しいたけの生産量の括弧書きは、生換算値であり、きのこ類の生産量小計には、この数値を用いている。

2 うるしはkg、竹材は千束、桐材はm³、木酢液・竹酢液はkl、薪は層積m³である。

3 木炭の生産量は、白炭、黒炭、粉炭の合計である。

4 計が一致しない部分は、四捨五入によるものである。

5 生産量は、主に都道府県林務担当課からの報告の集計（集計期間：令和元年1月～12月）である。

6 生産額は、それぞれの生産量に東京都中央卸売市場等の卸売価格、都道府県の生産者出荷価格等に乗じた推計値である。

7 主要な生産地は、生産量の上位5都道府県（桐材は4都道府県）を掲載している。